



# お仕置き

- ✎ Adelheid Marie Bwire
- ✉ Melany Pietersen
- 💬 Noriko Shibata
- 🗣️ japanska
- 📊 nivå 2

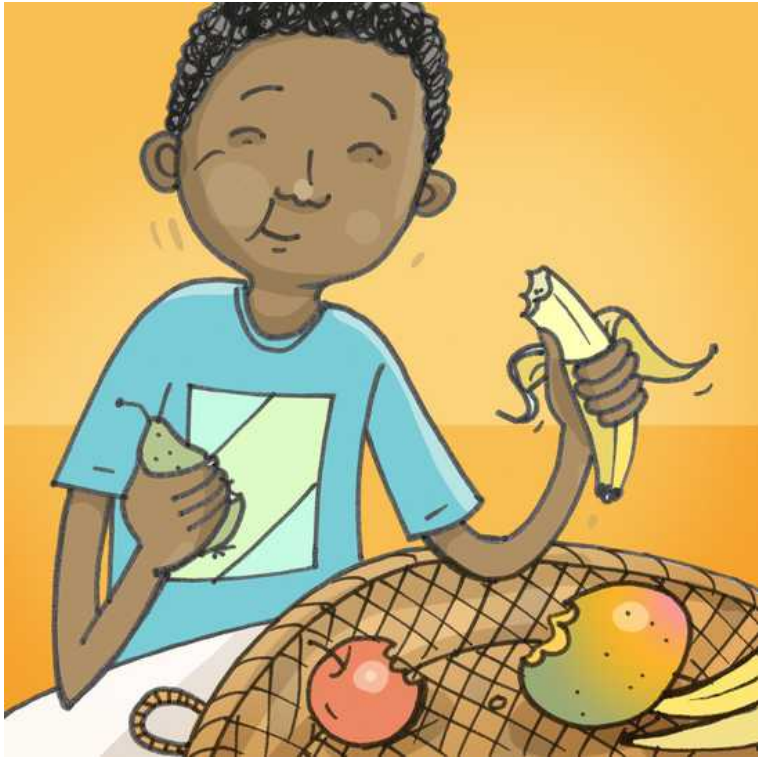




ある日、お母さんは、果物をたくさん手に入れました。



「私たち、いつ果物を食べられるの? 」と尋ねると、お母さんは「今夜にでも食べましょう」と言いました。



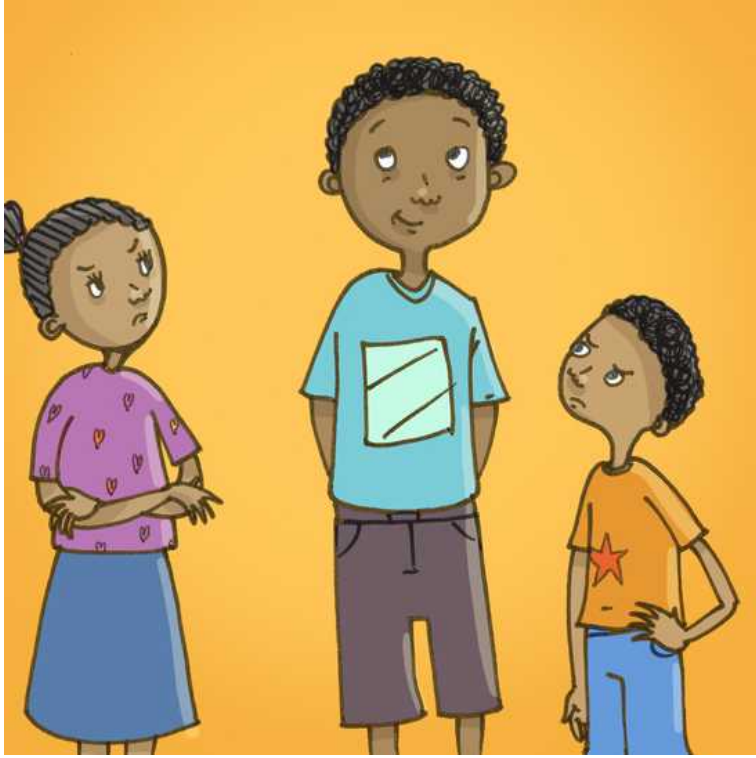
お兄ちゃんのラヒームは、食いしんぼう。全ての果物を味見して、たくさん食べてしまいます。



「ほら見て、ラヒームったら！」弟が叫んでいます。「ラヒームはお行儀が悪くて、わがままなのよ」と私は言いました。

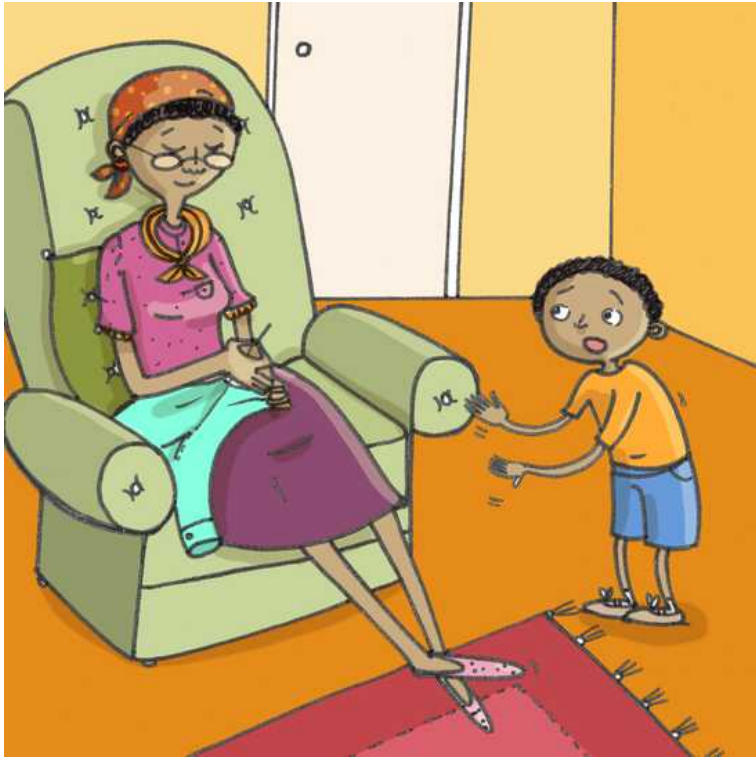


お母さんは、ラヒームのことを怒っています。



私たちもラヒームに腹を立てています。でも、ラヒームは自分のしたことを悪いと思っていません。





「ラヒームにお仕置きをしないの？」 弟は、お母さんに尋ねました。





「ラヒーム、もうすぐ自分のしたことを後悔するわよ」とお母さんは、言い聞かせました。



ラヒームは、気持ちが悪くなり始めます。



「おなかがとても痛いよ」と小さな声でささやきました。



お母さんは、こうなることがわかっていました。果物は、ラヒームにお仕置きをしているのです！



その後、ラヒームはみんなに謝りました。「僕はもう二度と欲張ったりしないよ」と約束し、みんなもラヒームを信じることにしました。



# Sagor för barn på svenska

[berattelser.se](https://berattelser.se)

## お仕置き

Skriven av: Adelheid Marie Bwire

Illustrerad av: Melany Pietersen

Översatt av: Noriko Shibata

Denna saga kommer från African Storybook ([africanstorybook.org](https://africanstorybook.org)) och vidarebefordras av Sagor för barn på svenska (<https://berattelser.se/>), som erbjuder sagor på många språk som talas i Sverige.

Detta verk är licensierat under en Creative Commons

[Erkännande 3.0 Internasjonal Lisens](https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/).